

CIAO ! TERESA'S LIFE in Iwakura

Some difference in the Italian school system

(こんなに違うイタリアの学校制度)



皆さんこんにちは！国際交流員のテレサ・ロルツです。今日はイタリアの学校について紹介したいと思います。

前に紹介しましたが、イタリアでは小学校は5年生まで、中学校は3年生、高校は5年生までです。

イタリアの小学生は“グレンビューレ”という青色の制服を着ます。ちなみに、保育園は白色の制服を着ます。中学校と高校は、制服はないので自由な服装で学校に行きます。

学校へ行く期間は、9月10日から6月8日まで、そのあとは3カ月間の夏休みがあります。また、イタリアの学校では、毎日午前11時から15分間のスナックタイムがあり、家から持ってきた自分の好きなスナックを食べます。イタリアの学校は1クラス20人くらいで、学年が上がっても先生は変わりません。



小学生時代のテレサ

小学校1年生から、イタリア語、数学、社会、英語、理科、音楽やカトリックについて勉強します。中学校ではフランス語も勉強します。試験は、筆記試験と口頭試験があり、点数は10点満点です。中学生や高校生は、学年が上がる時に、全ての科目の6割を取る必要があります。

中学校3年生の時、生徒たちは行きたい高校を考えます。イタリアの高校はいろんな種類があります。例えば、数学や化学を学ぶ高校、西洋言語を学ぶ高校、ラテン語と古代ギリシャ語を学ぶ高校などです。また、楽器を勉強したい人は、音楽高校に行きます。これらの種類の高校は“リチエーオ”といい、大学に行くための勉強をします。高校にはリチエーオの他に、工科学校や職業学校があります。

高校5年生の終わりには卒業試験があります。この試験は“マトゥリタ”といい、1年生から5年生までに勉強したこと全部の試験です。口頭試験をするときは、別の学校の先生が来てチェックします。その時はいろんな質問をされます。マトゥリタに合格して、“ディプロマ”という卒業証書を取得すると大学に進むことができます。高校で学んだ科目を選択できるので、自分が熱心に取り組んでいることに集中することができ、とても良い方法だと思います。



テレサが通っていた高校
(リチエーオ ジュゼッペ・タラン
ティーノ高校)

私は、高校生の時、西洋言語を学ぶ学校に行きました。そして、英語、フランス語とドイツ語の勉強をしました。高校を卒業してから、ヴェネツィアの大学でアジア・地中海地域の研究をして中国語を専攻しました。言葉や国の文化と伝統を勉強するのが大好きです。これは国際交流員としての仕事にもつながっています。